

100まんびきのねこ

福音館書店 3歳から
ワンダ・ガアワ 文／絵

アメリカの絵本
石井桃子 訳

【あらすじ】幸せに暮らすおじいさんとおばあさんが猫を探すお話。
「うちに猫がいたらもっと幸せだろう」というおばあさんに、おじいさんが
「それでは一匹猫をとってこよう」と探しに出かける。
歩いているとどこもここも猫でいっぱいの丘につく。
「どこにもかしこにも、ねことこねこ
ひやっぴきのねこ せんびきのねこ
ひやくまんびき 一おく 一ちょうひき
のねこ」その中から探すが、
どの子もかわいい。
結局全部の猫を連れて帰ることになる。
しかし、年とったおばあさん「1匹といったのに」とおどろき。
みんなにご飯はあげられない。どの子にするかを猫に決めさせる…猫
同士がけんかを始めた。結局猫は1匹もいなくなってしまった…と思つ
たら、一匹の子猫がのこっていた。
でも、その子猫はやせこけた少しもかわいく見えない子猫でした…



【めもめも】

モノクロの絵 少し長いお話ですが、難しい文章表現ではないので、
3歳なら楽しめそうです。
お話を最後におじいさんとおばあさん
が本当に大切なことに気づく場面は、欲張りすぎず、自分にとって本
的に大切なものを見つけることが大事…そんなことが感じられる絵本です。このあたりの理解は、4歳以降かな？？

おおきなかぶ

福音館書店 2歳児クラスならOK ロシアの昔話
A.トルストイ 再話 内田莉莎子 訳 佐藤忠良 画

【あらすじ】おじいさんが植えたかぶがとてもなく大きなかぶになり、
人間や動物までもかいつしょになって抜こうとするお話。
「おじいさんは かぶをぬこうとしました。 うんとこしょ どっこいしょ
まだまだかぶは ぬけません」
抜けなかったおじいさんがおばあさんを呼び、
まだ抜けないのでおばあさんはまごをよび、
まごはいぬをよび、いぬがねこを、
ねこがねずみをよんで、
「うんとこしょ どっこいしょ」で
さあ、かぶはどうなったかな？？



【めもめも】

絵は絵画系のもの、小さい子向けてはないが、おはなしは単純で、フレーズが繰り返しになるので、2歳児でもたのしめる。
見開きを使って大きな絵になっている。

犬が孫のスカートをくわえて引っ張るところも楽しいが、猫が犬のしっぽをひっぱったり、ねこのしっぽにねずみがしっぽをからめてひっぱっているようすが楽しい。

絵本からはみ出さんばかりのかぶで、大きさがよくわかり面白い。
こんな大きなかぶをどうやって食べようかなあ…とかんがえるのもいいかも。

わたしのワンピース

こぐま社 3歳から
西牧茅子 絵／文

【あらすじ】

うさぎさんが、空からおちてきたまっしろい

きれで「ワンピースを作ったから…あら不思議…なお話。

ミシンでカタカタ、真っ白いワンピースができあがり

「にあうかしら」とお外に出かけました。

お花畠を散歩すると…ワンピースが「お花模様に…「にあうかしら」

あねがふってきました…あら、水玉模様に…「にあうかしら」

草の実いっぱいの中をお散歩…あら、草の実模様に…「にあうかしら」

すると小鳥が「草の実を食べに来た。」

ワンピースは小鳥模様に…そうしたらお空に飛んで、虹のなかに入って虹模様のワンピースに。そのうちゆうやけもようのワンピースになつて…

なんだか眠くなつたうさぎさん。眠っているうちに夜になり、ワンピースはお星さま模様。

お日様「目が覚めたうさぎさんはお星さま模様のワンピースがうれしくてラララン ロロロン ランロンロン

【めもめも】優しい色合い、優しい絵

白いワンピースが周囲の景色に合わせて素敵に変化。みんなはどうんな柄のワンピースがいいかしら？？

やはり女の子向け。「自分の好きなもの」が出てくる3歳を過ぎる頃に楽しめるかも。終わったら「どんな模様にしたい？？」と楽しんだり、真っ白のワンピース型の紙で「着せ替えお洋服遊び」をするのもよし。



てん てん てん

福音館書店 0.1.2.えほん 4ヶ月からでもOK
わかやましずこ さく

【あらすじ】

てんてんてん てんとうむし

ぐるぐるぐる かいたつむり

ひらひらひらひら きいろいちょうちょ

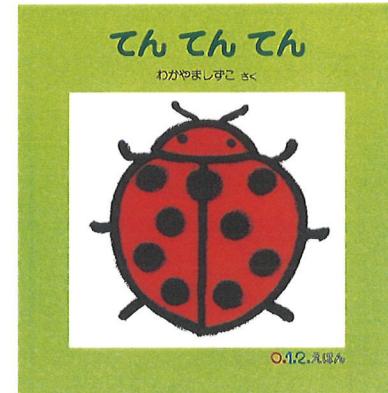
ぽつぽつぽつ

ほたる ほたる ほたる

かさつ かさつ かさつ

さいごは少しだけ見えて…

なにかな？？



【めもめも】

0歳の赤ちゃんから楽しめる。虫の名前はわからないけれど、赤ちゃんにもよく見えるはっきりとした「色」が使われている。

絵のサイズも大きくてみやすい。

同じことばが繰り返される「てん てん てん」「ぽつ ぽつ ぽつ」などなど、その点もわかりやすく、真似がしやすい。

てんとう虫やかいたつむり、ちょうちょはお散歩で見かけやすく、絵本と实物を結びつけることも楽しい。

保育園でも、動いているテントウムシを見つけて、子ども達は不思議、可愛い…でも触りたい…そんな様子でした。